

! NEW !

エチニル dSpacer

▶エチニル dSpacer はオリゴ DNA 鎖の任意の位置に導入できます。5'や3'末端、インターナル修飾が可能です。

エチニル dSpacer は、糖の1'位にアルキン構造が結合しています。Huisgen 反応後には、付加環化反応により作られる1,2,3-トリアゾール環が、糖の1'位に位置する構造となります。
二本鎖安定性のコントロールや、fleximer として利用することができます。

▶今回も、エチニル dSpacer 修飾の応用の参考としていただきたい論文をご紹介します。エチニル dSpacer を導入した場合とは、塩基に結合する環の構造が少し異なりますが、fleximer として利用するという点において、ご参考いただけたらと思います。

Carbocyclic 5'-nor "reverse" fleximers. Design, synthesis, and preliminary biological activity, *Med. Chem. Commun.*, 2011, 2, 650-654